



こうばい

第10号 令和 5年10月6日
文責:校長 日高祐子

六角小 HP
<https://www.education.saga.jp/hp/rokkaku-e/>



◆5年 宿泊学習 (9/27~28)

波戸岬少年自然の家での宿泊学習！5年生の子どもたちにとっては、初めての泊を伴う行事です。ご家庭のご協力のおかげでみんな体調を整えて出発することができ、すべての活動を元気に行うことができました。自然の中で普段の学校生活では体験できない活動を楽しみながら、友達と協力すること、自分で考えて進んで行動すること、決まりを守ること、お互いに思いやりをもって少しずつ譲り合うことなど、たくさんの学びがあったようでした。カッター体験は少ない人数ながら見事な団結力で、指導員さん方からほめていただきました。

また、同日に利用されていた他校の先生から、「出会うと立ち止まって挨拶をしてくれて、本当に気持ちがよく、うれしくなる挨拶をしてもらいました。」という言葉が掛けていただきました。校長として子どもたちのことが誇らしく、とてもうれしく思いました。この二日間で、さらに成長した5年生。今後の学校生活での活躍が楽しみです。



ファイトー！防波堤から応援しています…(校長)



【野外炊飯】まきでの調理！
なかなか上手に火起こしできていましたよ。感心！

◆6年 平和学習 ～白石町でも戦争があった～

10月5日(木)、東郷の白武留康さんにおいていただき、戦争体験についてのお話をうかがうことができました。終戦当時は小学2年生だった白武さんは、戦争に行くお兄さんたちを見送り、お母様の悲しみを感じ、命の縁をつなげなかった弟を思い、日常の中に「戦争」があった幼少期のことを子どもたちに語ってくださいました。美術教師をされていた白武さんは、ご自身で描かれた絵を用いながら、子どもたちがイメージしやすいように丁寧に話してくださいました。

また、「戦争体験者が少なくなっている今、自身の体験を語り継ぐ大切さを感じています。」とお話されていました。先生たちも全員が「戦争を知らない世代」であり、自ら学びながら子どもたちと向き合うことが必要だと思いました。子どもたちの感想の一部を紹介します。

【大樹さん】白石町は戦争の被害をあまり受けていないと思っていたので、こんなにも被害を受けたのだと少し意外で、残酷だったと思いました。

【智帆さん】画像や絵と一緒に説明して下さったのでとても分かりやすかったです。本当に戦争があって何人もの人が亡くなったのだと知りました。「メモ」に収まらないほどたくさんのメモになりました。



【煌生さん】白石町もたくさんの被害を受けたということが分かりました。戦争は二度とあってはならないことだと思いました。もっと戦争のことについて考えてみたいです。

【輝晶さん】白石での戦争のことや学校生活についてよく分かりました。戦争中の苦しかったことについて聞いたときは、もう二度と戦争があつてほしくないと思いました。これからその話を語り継いでいかなければいけないと思いました。

【寿音さん】白武さんがお話してくださったことは、これからみんなに伝えて、つなげていきたいと思っています。

6年生は、この学びを持って来週の長崎修学旅行に行きます。きっと現地での学びと合わさって平和学習が深まることと思います。

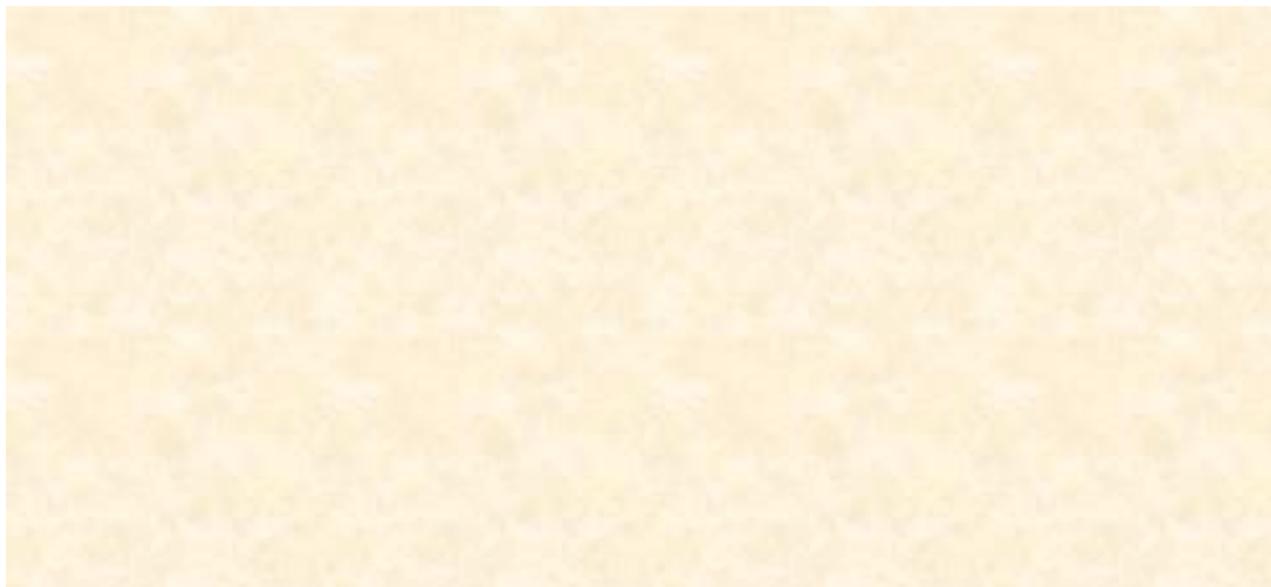
◆2年 研究授業（10月4日）



子どもたちが主体的に学び、「わかる・できる」喜びを実感する授業づくりに取り組んでいます。

今回は2年生算数『しきと計算』の学習でした。いかに子どもたちから「問い」を引き出して「めあて」につなげるか、瀧上先生の熟考が伝わってくる授業でした。「問い」をもつ2年生の姿に、学びの成長を感じました。

～ 入賞おめでとう！ ～



お知らせ

本日、前期の「通知表」を子どもたちに渡しています。

「通知表の見方」（通知表に綴じ込んでいます）をご一読いただき、学習面、生活面ともに、お子さんの努力や成長を一緒に見ていただき、認め、ほめ、励ましていただければと思います。令和5年度の佐賀県教育委員会のテーマは、「ほめるから、はじめる。はじまる。」とされています。自分で考え、判断し、行動する、チャレンジするたくましい子どもを育てるために、家庭と学校との連携をさらに意識していければと考えます。三連休後から後期となります。学校では、今年度のゴールを見据えながら『笑顔でチャレンジ六角っ子』の気持ちを更に高めていきたいと思っています。

